

第 33 回バイオマスタウン構想の公表

【新規公表：24 構想（25 市町）の概要】

青森県三沢市（みさわし）

農業者、民間企業及び J A 等関連団体との協働により、家畜排せつ物、下水道汚泥等による商品性の高い堆肥の製造、食品残渣・野菜残渣の飼料化・堆肥化、廃食用油の B D F 化等に取り組み、循環型都市の構築及び地域産業の振興を図る。

青森県田子町（たっこまち）

畑作と畜産の資源利用・循環による耕畜連携の輪が構築されてきたものをさらに補完するため、きのこ廃菌床や未利用バイオマス資源の優良堆肥化による地域内還元を目指して新たに事業展開し、より大きな地域循環の輪の形成を進める。

宮城県大崎市（おおさきし）

市民や事業者、N P O 団体、研究機関等と連携し、自然と共生する循環型社会の形成に向け、家畜排せつ物や食品廃棄物等の堆肥化・燃料化、廃食用油の B D F 化、林産資源の燃料化、農産資源の堆肥化、ヨシの燃料化、なたね・ひまわりの燃料化等によるバイオマスの利活用を行い、ゴミの減量化や温室効果ガスの抑制による環境保全、新エネルギー事業の創出等による産業の活性化を図る。

宮城県大郷町（おおさとちょう）

家畜排せつ物や事業系・家庭系生ごみ、稲わら、もみ殻による堆肥化を推進するとともに、廃食用油の B D F 化、バイオマスに関する情報共有のためのネットワークの構築、菜の花など資源作物の燃料化等に向けた検討を進め、ゴミの減量化や地球環境及び農地の保全、地域ブランドの創出等による農業の活性化を図る。

福島県会津若松市（あいづわかまつし）

民間が主体的に取り組む事業（民間事業者等からの提案事業） 市が主体的に取り組む事業（例：下水消化ガスによる発電） 官民共同で実施へ向け検討する事業（例：菜の花プロジェクト） 民間の取り組みを支援する事業（例：廃食用油等の回収方法の検討）の 4 つの実施形態に区分し、市民・事業者・市

が連携して循環型社会の形成を目指し、バイオマスの利活用を進める。

茨城県常陸大宮市（ひたちおおみやし）

豊富に存在する森林資源の利活用を基本とし、未利用系バイオマスと廃棄物系バイオマスを複合的に利活用することで、本市が目指す環境像『清流と里山に学び、みんなで創る 環境にやさしいまち 常陸大宮』の実現に寄与する。

栃木県宇都宮市（うつのみやし）

宇都宮市は水稻をはじめ、園芸作物や畜産も盛んであり、多品目がバランスよく生産されていることから、それぞれから発生するバイオマスを用いて、地域内で完結する資源循環型農業の構築を目指すとともに、バイオマス利活用への市民・企業の取組や技術開発への支援を図り、新たな取組の創出を促進する。

栃木県小山市（おやまし）

小山市の農用地や平地林、市民生活から発生するバイオマスのたい肥化及びエネルギー化等に取り組み、「水と緑と大地」の豊かさを次代へ引き継ぐ決意を「おやま菜の花プロジェクト」等を通して周知し、環境に配慮し、自然と共生する「環境都市おやま」を実現する。

千葉県館山市（たてやまし）

温暖な気候と海に囲まれた地理的条件を生かし、既に一部取組みが行われている家畜排せつ物、し尿や浄化槽汚泥などの堆肥化及び食品残渣の飼料化に加え、観光立市の施策とバイオマスを組み合わせ、家畜排せつ物や海草などのメタン発酵から得られたガス及びバイオディーゼル燃料を観光船や観光施設等に利用するなど、バイオマスの利活用を進める。

千葉県南房総市（みなみぼうそうし）

「資源循環を機軸とした環境保全型農業と地域内流通構想」事業の中で資源循環地域構想を策定した。この一部を構成するバイオマスタウン構想では、家畜排せつ物の堆肥化・流通、生ごみの堆肥化・エネルギー化、公園等剪定枝のチップ化及び廃食油のバイオディーゼル燃料化を通じて持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。

新潟県魚沼市（うおぬまし）

バイオマスを活用することで魚沼らしい豊かなライフスタイルへの転換をめざす。家畜排せつ物や食品加工残さ、家庭生ごみ等の堆肥化に取り組み、安全、

安心で高品質な米やユリ、野菜等の生産に地域全体で関わることで、市民の誇りを醸成する。また、身近に利用できる薪やペレットなどの木質バイオマスの活用により、森を再生しながら新たな雇用や観光、教育の拠点づくりを行う。

新潟県南魚沼市（みなみうおぬまし）

家畜排せつ物の継続的利用に合わせ食品廃棄物の新たな取り組みを行う「堆肥の安定供給事業」、木質廃棄物系を利用した既存のチップ化事業から未利用の林地残材を一部利用する新たな「木質ペレット化事業」、食品廃棄物や下水汚泥等の更なる有効利用を目指し焼却処分からの転換を検討する「メタン発酵事業」を3つの柱とし、地域の循環型社会の形成を目指す。

長野県上田市（うえだし）

地域の課題となっている焼却ごみの減量化や森林内に放置されている林地残材等の実情を踏まえ、「環境にやさしい農林業の推進」を目指し、バイオマスタウンの実現を進める。

【主要事業】

生ごみや家畜排せつ物などを活用した有機堆肥化事業の推進により、環境保全型農業の確立と循環型社会の形成を目指す。豊富な森林資源を中心とする木質バイオマスをエネルギー源として活用することで、地球温暖化防止や森林整備の促進・産業の活性化を図る。

岐阜県恵那市（えなし）

下水汚泥堆肥を利用したバイオマスファームでの景観・資源作物生産と観光活性化を図るとともに、家畜排泄物の堆肥化による一般農地の地力改善、食品系廃棄物の循環利用による恵那ブランド商品の高付加価値化及び森林資源を原料とした木質ペレット・チップ・炭の生産と燃料利用に取り組む。特に、下水汚泥堆肥を景観、資源作物等を栽培するバイオマスファームへの利用は、観光資源に変換させることにより地域の活性化やバイオマスエネルギーの利用等の促進を図り、「人・地域・自然が調和した交流都市」の実現を目指す。

静岡県袋井市（ふくろいし）

廃食用油利活用の促進と遊休農地を活用したひまわり・菜の花など資源作物栽培の促進、家畜排せつ物の利活用の促進、稲わら・麦わら等の利活用の促進、木質バイオマス利活用の促進の4つの主要な取組をはじめとするバイオマスの利活用を袋井市環境基本計画の実施計画として位置付け、市民との協働による環境に配慮したまちづくり「エコタウンふくろいの構築」や、既存

の取組の連携強化等による地域産業（農業及び事業者）の振興を図る。

愛知県豊川市・小坂井町（とよかわし・こさかいちょう）

「バイオマスがつなく新しい価値の創造～多様なパートナーシップによるまちづくりへの挑戦～」を基本理念として、「収益力のあるたい肥づくりの推進」「多様なパートナーシップによるバイオマス利活用の推進」「バイオマスの利活用による資源循環型まちづくりの推進」を事業化の視点とし、地域のバイオマスを利活用し、市民が一体となつてつくる豊川・宝飯ならではの循環型社会の形成を目指す。

山口県周南市（しゅうなんし）

周南市の工業地域の集約した臨海部と農業・林業が盛んな北部山間地域が一体化している特性を生かし、地域で発生する森林系バイオマスを中心に様々なバイオマスを有効に利活用することにより、地産地消型で効率の高い循環型農林水産業の形成を図る。

徳島県三好市（みよしし）

三好市では、本市がもつバイオマス資源の有効な利活用を行うため、木質バイオマス利用プロジェクト、廃棄物資源化プロジェクト、三好市菜の花プロジェクト及びヤトロファプロジェクトの4つを軸に推進を図り、資源循環型社会の構築を目指す。

愛媛県松前町（まさきちょう）

松前町の都市近郊型地域の特長を生かして食品廃棄物、廃食用油、剪定枝、稲わら・もみがら、ひまわり等油糧作物の活用を推進し、バイオマス全体を無駄なく効率的に利用する住民、事業者、行政が一体となった地域循環型社会を目指す。

高知県宿毛市（すくもし）

市民生活や一次産業及び一次産業と連携した産業を対象とし、生ごみ・し尿汚泥等の堆肥化を柱に、廃食用油の利活用、森林資源の利活用の3つの取り組みを展開することにより、環境に配慮した持続的な域内エネルギーの地産地消を目指す。

大分県九重町（ここのえまち）

農業と観光の町九重町は地熱など地下資源も豊富で、町内に存在する豚ふん

尿や事業系生ごみ、焼酎粕などを活用し地熱と連携したメタン発酵によるバイオガス化や林地残材を活用した木質チップの生産を行い、エネルギーの地域循環型のまちづくりをめざす。

宮崎県日向市（ひゅうがし）

豊富な森林資源を固形燃料として利活用するとともに、家畜排せつ物や生ごみの堆肥化を促進する等、バイオマスの有効利活用について、市民・関係団体、行政が連携して取り組み、資源循環型社会を構築と農林水産業の振興や新産業の創出を目指す。

鹿児島県鹿屋市（かのやし）

地域の主要なバイオマスである家畜排せつ物の効率的なメタン発酵（ガスの電熱利用）や固形燃料化によるエネルギー利用の推進、耕種農家のニーズに即した良質な堆肥・肥料生産システムの構築を図るとともに、焼酎粕やでんぷん粕、甘藷の茎葉等の飼料化などを推進し、循環型社会の構築を踏まえた産業の活性化を目指す。

鹿児島県中種子町（なかつたねちょう）

農業とまちの活性化を図るために、豊富に賦存する家畜排せつ物や生ゴミの堆肥化を進め、これらを有効活用しながら環境に優しい土づくりを推進するとともに、稲わらやイモ蔓、サトウキビ梢頭部を畜産用の飼料や燃料用としてのペレット化を進め循環型社会の構築を図る。

【改訂：3 構想の概要】

北海道札幌市定山溪地域（さっぽろし じょうざんけいちいき）

札幌市定山溪地域のホテル・旅館等事業者及び住民から排出される生ごみ等の堆肥化による資源化や、その生ごみ堆肥の利活用による農産物の生産、及びその農産物の活用を図る。

岡山県真庭市（まにわし）

木質系廃材、家畜排泄物および食品廃棄物の廃棄物系バイオマスと未利用木材の未利用バイオマスを主たる対象とし、個々のバイオマスの「収集～変換～利用」の仕組みを体系的に整備し、利用率を高めることにより、廃棄物系バイオマスの目標利用率90%以上を目指す。

宮崎県小林市（こばやしし）

これまでの取組みとしては、生ゴミや家畜排せつ物の堆肥化、汚泥の肥料化、家畜排せつ物のメタン発酵による電熱利用が図られている。さらに、豊富な木質バイオマスのペレット変換、廃食油のBDF化等のバイオマス利活用システムの構築を目指す。